

とよみ生協病院 上棟式

事務次長 平良 雄一郎

昨年の8月から工事を開始して約一年、7月12日（水）に無事8階の天井部分のコンクリート流し込みが終わり、上棟式をむかえることができました。

上棟式とは、建物の屋根ができた際（棟上げ）に建築の一区切りとして、職人の皆さんの労をねぎらうための儀式で、沖縄の場合はコンクリート造が多いため「スラブ打ち」という言葉の方になじみがあるのではないかと思います。

沖縄では昔からヒージャー汁（山羊汁）や牛汁をふるまうことが知られていますが、とても暑い時期ということもあり今回はステーキ弁当になりました。

施主を代表して医療生協の大城副理事長より、事故もなく工事をおこなってくれた職人さんたちに感謝し、残りの工期も安全に進めてもらい、完成することを組合員一同楽しみにしているとごあいさつされました。

これまでは台風や天候の影響が少なかったので計画通りに進んでいます。今後は内装工事が本格的になり、さらに来月からは透析棟の改修工事も始まって、今年中には引き渡しが予定されていますので、お披露目までもう少しお待ちください。

7月12日（水） 上棟式



沖縄医療生協
大城副理事長



東畑建築事務所
西園建築士



東江建設
金城専務取締役



振る舞われたステーキ弁当



今後の予定

2023年8月1日（火）：透析棟の改修工事開始

2023年12月30日（土）：新病院引き渡し

2024年2月1日（木）：新病院引越

2023年11月30日（木）：透析棟改修工事終了

2024年1月21日（日）：内覧会

2024年2月5日（月）：新病院外来診療開始

